

# 南相馬市駐在レポート

## 第4号

平成27年12月  
福島県教育庁文化財課南相馬市駐在

### 本年度の調査も後半戦へ

福島県にもいよいよ冬が到来し、屋外調査には厳しい季節を迎えました。文化財課南相馬市駐在では、東日本大震災の復旧・復興事業に係る埋蔵文化財の保護業務もすでに年度の後半戦に突入しています。

今回は秋の比較的過ごしやすい季節の中で取り組んだ各地での調査の様子を、①試掘・確認調査、②市町村支援調査、③整理作業に分けて、写真でご紹介します。

### ①. 試掘・確認調査

試掘・確認調査は、遺跡の内容や範囲・地表面からの深さを確認するため、基本的に幅2m、長さ10mの長方形の試掘溝(トレンチ)を設定し、地面を掘り下げて調べます。これまでに南相馬市鹿島区・原町区・小高区のは場整備や海岸防災林、道路整備事業予定地などの調査を行ってきました。



1 遺構や遺物がありそうな箇所にトレンチを設定して、重機で表土を除去しました。

(原町区愛原遺跡)



2 重機が入れない所は、人力でもトレンチを掘りました。(原町区植松 C 遺跡)



3 土器が出土したようです。調査員が駆けつけ緊張が走ります。(鹿島区鹿島西部地区)



4 水田の調査では、調査終了後トレンチを専用の機械で転圧をかけながら埋め戻しました。

(鹿島区鹿島西部地区)

## ②. 市町村支援調査 —浪江町大平山の調査—

南相馬市駐在では、市町村が行う東日本大震災復旧・復興事業の埋蔵文化財保護への支援も行っています。11月初めから、浪江町の防災集団移転事業に伴う大平山城跡付近の試掘・確認調査の支援を行っています。

11月20日現在調査中ですが、尾根から5mほど下ったところに古墳時代の横穴墓が10基以上見つかりました。尾根付近で凝灰岩の岩肌まで表土を剥ぎ取ると、中近世の寺院跡と思われる礎石柱穴跡多数と岩をくりぬいた空間が数箇所見つかりました。



調査前の山林の木々を伐採した後の尾根付近南斜面の様子です。（浪江町大平山）



岩を削って平坦地を作ったときに天井部の削りとられた横穴墓を発見しました。（浪江町大平山）



岩肌の床面を出す前の尾根付近の一部の様子です。安全確保のため必ずヘルメットを着用します。（浪江町大平山）



同じく岩肌の床面まで表土を剥いだところ、岩をくりぬいた空間を発見しました。かなり多くの作業をして空間は作られたようです。（浪江町大平山）

## ③. 整理作業

駐在内では、発掘調査報告書をつくるために、遺構の図面の整理や出土遺物の実測図の作成を行う「整理作業」を行っています。これも試掘・確認調査を行った遺跡の内容をより明らかにし、広く知っていただくための大切な作業です。



試掘結果や関連資料をもとに、調査担当者が集まって遺跡の範囲を検討しています。



自然光を利用して、出土した土器の写真を撮っています。